

岩手県感染症週報

平成24年第39週(9月24日～9月30日)

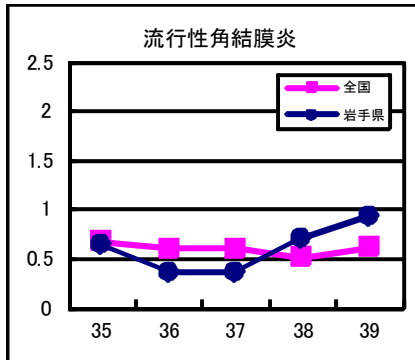
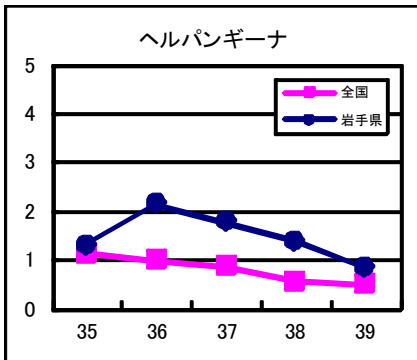
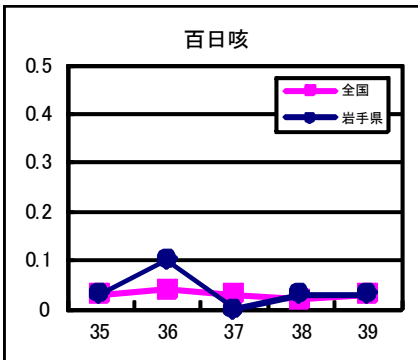
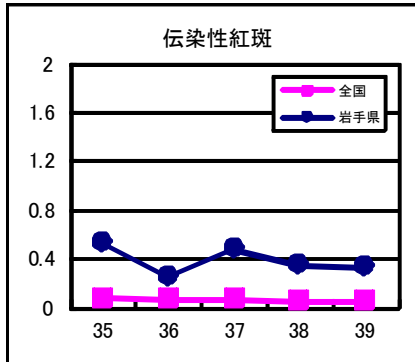
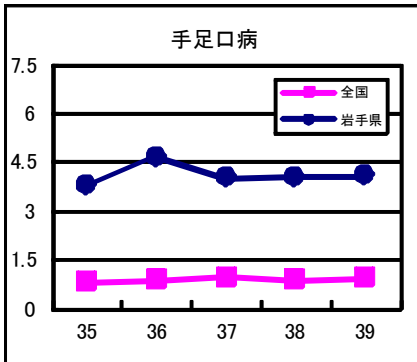
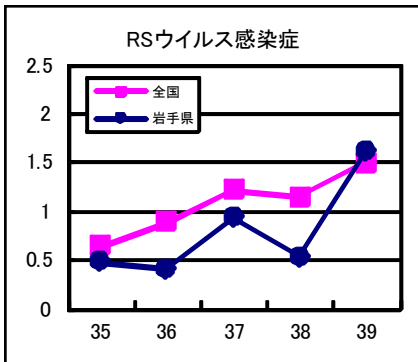
岩手県感染症情報センター

第39週の概要

- 1類感染症 ・患者発生 の報告はありませんでした。
- 2類感染症 ・結核の報告が、7例(潜在性結核感染症2例)ありました。
- 3類感染症 ・腸管出血性大腸菌感染症は、盛岡市から3例、一関地区から1例の報告があり、今年 の累積報告数は81例となりました。
- 4類感染症 ・患者発生 の報告はありませんでした。
- 5類感染症 (全数把握対象疾患)
 - ・クロイツフェルト・ヤコブ病の報告が1例ありました。患者は70歳代の女性です。
 - ・風しんは、関東地区や関西地区で発生 の多い状況が続いています。
- 5類感染症 (定点把握対象疾患)
 - ・RSウイルス感染症は、急増しました。盛岡市および奥州地区で多くなっています。年齢層別では1歳以下の乳児が9割近くを占めています。本疾患は、主に乳幼児が感染し、インフルエンザ様の呼吸困難を伴う気管支炎となるので要注意疾患です。
 - ・手足口病は、前週とほぼ同数の報告がありました。地区別では、盛岡市、中部、奥州および一関地区で警報値(定点あたり患者数5人)を超えており、県内陸部を中心に流行しています。年齢層別では1～3歳に多く5割以上を占め、また、7歳児の報告が増加しました。県環境保健研究センターで実施しているウイルス検査では、エンテロウイルス71型、A群コクサッキーウイルス6型および9型が検出されています。
 - ・流行性角結膜炎は、久慈地区で報告数が多く警報値(同8人)を超えました。

最近の注目疾患 (定点あたり患者数の過去5週の動き)

(疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意)



定点把握対象疾患 (過去5週の動き)

(定点あたり患者数)

疾病名	地域	週					流行傾向	
		35	36	37	38	39		
インフルエンザ	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.25	0.2	0.23	0.18	0.14		
RSウイルス感染症	岩手県	0.48	0.4	0.93	0.53	1.6	↗	☆
	全国	0.64	0.89	1.21	1.14	1.49		
咽頭結膜熱	岩手県	0.18	0.23	0.1	0.08	0.05	→	
	全国	0.29	0.34	0.38	0.25	0.25		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	0.53	0.43	0.6	0.48	0.58	→	☆
	全国	0.73	0.81	0.89	0.7	0.94		
感染性胃腸炎	岩手県	2.25	2.25	2.13	1.83	1.3	→	☆
	全国	3.09	3.15	3.22	2.72	3.08		
水痘	岩手県	0.2	0.35	0.23	0.23	0.33	→	☆
	全国	0.38	0.5	0.42	0.42	0.45		
手足口病	岩手県	3.78	4.65	4	4.03	4.08	→	☆☆☆
	全国	0.81	0.89	0.98	0.89	0.95		
伝染性紅斑	岩手県	0.53	0.25	0.48	0.35	0.33	→	☆
	全国	0.08	0.07	0.07	0.05	0.05		
突発性発疹	岩手県	0.58	0.4	0.7	0.55	0.38	→	☆
	全国	0.75	0.7	0.71	0.54	0.65		
百日咳	岩手県	0.03	0.1	0	0.03	0.03	→	
	全国	0.03	0.04	0.03	0.02	0.03		
ヘルパンギーナ	岩手県	1.3	2.15	1.78	1.38	0.83	→	☆
	全国	1.13	1	0.88	0.57	0.51		
流行性耳下腺炎	岩手県	0.93	1.08	1	0.63	1.15	→	☆
	全国	0.38	0.34	0.4	0.32	0.38		
急性出血性結膜炎	岩手県	0	0	0	0	0.07	→	
	全国	0.01	0.01	0	0	0.01		
流行性角結膜炎	岩手県	0.64	0.36	0.36	0.71	0.93	→	☆
	全国	0.68	0.6	0.6	0.51	0.61		
細菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.03	0.04	0.01	0.02	0.01		
無菌性髄膜炎	岩手県	0.11	0	0.05	0	0	→	
	全国	0.05	0.04	0.08	0.06	0.06		
マイコプラズマ肺炎	岩手県	1.37	1.74	1.79	1.74	1.74	→	☆
	全国	1.09	1.08	1.1	1.05	1.18		
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03		

【流行傾向の見方】

- 無印 : ほとんど患者が発生していません
- ☆ : 患者が発生しています
- ☆☆ : 警報値を超えた地区が1～2地区あります
- ☆☆☆ : 多くの地区で警報値を超えています

全数把握対象疾患 (過去5週の動き)								(患者発生数)	
疾病名	(週)	岩手県					全国		
	35	36	37	38	39	累計	39	累計	
一類 感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	痘そう	0	0	0	0	0	0	0	0
	南米出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0
二類	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	結核 () 内は潜在性結核感染症患者数	7 (3)	4 (1)	7 (2)	4 (0)	7 (2)	229 (105)	335	21720
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0
	重症呼吸器症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ (H5N1)	0	0	0	0	0	0	0	0
三類	コレラ	0	0	0	0	0	0	0	3
	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	0	2	165
	腸管出血性大腸菌感染症	3	8	3	5	4	81	105	3001
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	2	25
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	1	16
四類 感染症	E型肝炎	0	0	0	0	0	0	0	91
	ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)	0	0	0	0	0	0	0	0
	A型肝炎	0	0	0	0	0	0	4	129
	エキノコックス症	0	0	0	0	0	0	0	10
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	オウム病	0	0	0	0	0	0	0	6
	オムスク出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	キャサスル森林病	0	0	0	0	0	0	0	0
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	2
	サル痘	0	0	0	0	0	0	0	0
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	西部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ダニ媒介脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	チクングニア熱	0	0	0	0	0	0	0	4
	つつが虫病	0	0	0	0	0	6	0	196
	デング熱	0	0	0	0	0	0	7	159
	東部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ (H5N1を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0
	ニパウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	4	104
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	2	2
	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0
	鼻疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	0
	ベネゼエラウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ヘンドラウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0
	ポツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	3
	マラリア	0	0	0	0	0	0	1	59
	野兔病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ライム病	0	0	0	0	0	0	0	9
	リッサウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
リフトバレー熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
類鼻疽	0	0	0	0	0	0	0	0	
レジオネラ症	0	0	0	0	0	2	9	617	
レプトスピラ症	0	0	0	0	0	0	1	14	
ロッキー山紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	0	

全数把握対象疾患 (続き) (過去5週の動き)

(患者発生数)

分類	疾病名	(週)					累計	全国	
		35	36	37	38	39		39	累計
五類感染症	アメーバ赤痢	0	0	0	0	0	2	12	652
	ウイルス性肝炎 (A型肝炎及びE型肝炎を除く)	0	0	0	0	0	1	2	165
	急性脳炎 (ウエストナイル脳炎及び日本脳炎を除く)	0	0	0	0	0	4	3	281
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	0	6
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	1	2	3	136
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	2	2	184
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	0	0	1	15	1029
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	1	51
	髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	9
	先天性風しん症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	梅毒	0	0	0	0	0	3	18	640
	破傷風	0	0	0	0	0	0	1	86
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	70
	風しん	0	0	0	0	0	1	52	1738
	麻しん	0	0	0	0	0	2	3	263

今注目の感染症

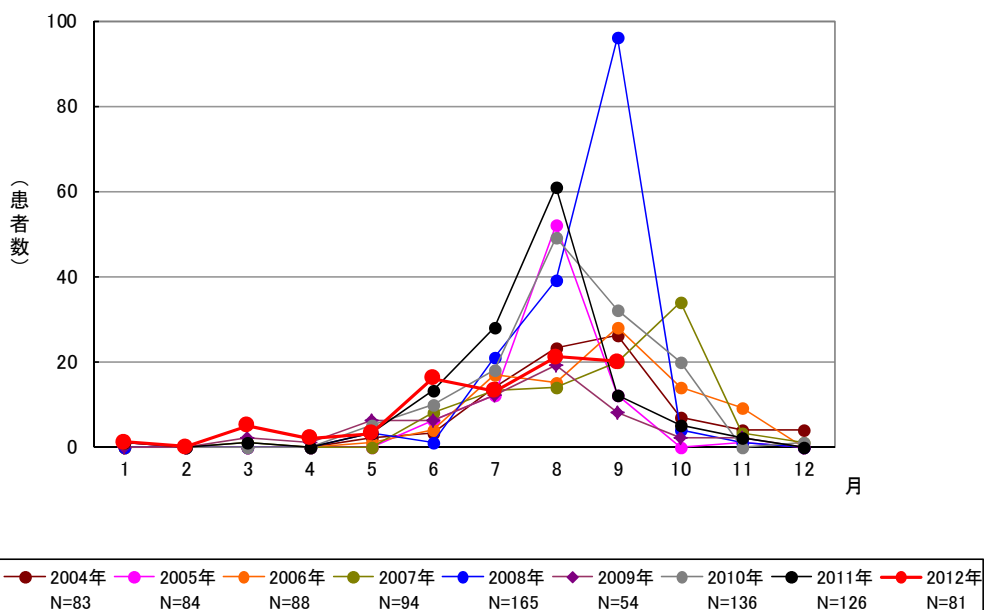
腸管出血性大腸菌感染症

腸管出血性大腸菌感染症は、第39週までに81例が報告されています。性別では男性が35例、女性が46例であり、年齢層別では0～9歳が26例、10～19歳が16例、20～59歳が25例、60歳以上が14例となっています。分離された大腸菌の血清群別ではO157が35例、O26が23例、O121が17例、O111が3例、その他が3例となっています。

食肉の十分な加熱処理などにより、食中毒の予防を徹底するとともに、手洗いの励行などにより、ヒトからヒトへの二次感染を予防することが重要です。オムツの交換時の手洗い、簡易プールの衛生管理、動物の接触後の十分な手洗いにも注意が必要です。

他県では集団食中毒の発生も報告されており、食中毒対策を徹底することが重要です。

腸管出血性大腸菌感染症 月別患者数
(岩手県2004年～2012年)



今注目の感染症 (つづき)

風しん

風しんは、発熱、発疹、リンパ節腫脹を特徴とするウイルス性発疹症です。一般的には数日で治癒する予後良好な疾患です。妊婦が妊娠初期に感染すると、胎児も感染し、出生児に先天性風しん症候群と総称される障害を起こすことがあります。

風しんは特異的な治療法はないものの、ワクチンで予防可能な感染症で、定期予防接種は、1歳児(第1期)、小学校入学前1年間の幼児(第2期)、中学1年相当・高校3年相当の年代(第3・4期、2008～2012年の5年間のみ)となっており、これら以外の方で接種を希望される場合には医療機関にお問い合わせください。

岩手県内における風しんの届出状況(平成20年1月～平成24年8月)

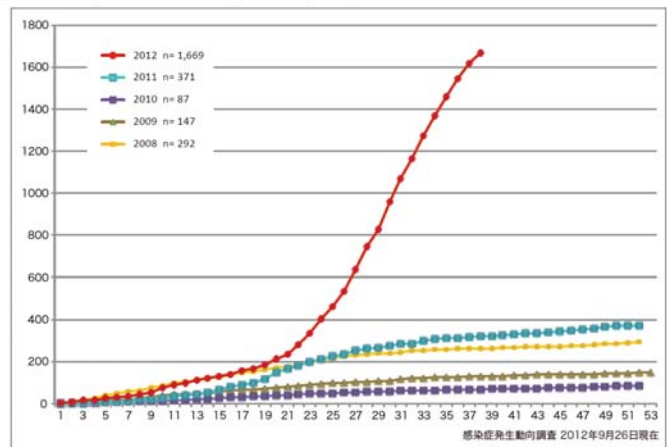
診断日	保健所	性別	年齢	備考
平成24年8月9日	奥州	男	14	臨床診断例
平成23年3月23日	盛岡市	男	21	検査診断例
平成22年12月27日	一関	男	5	臨床診断例
平成20年12月26日	奥州	男	34	検査診断例
平成20年6月17日	中部	男	6	臨床診断例
平成20年6月9日	中部	男	7	臨床診断例

風しんは、平成20年1月から全数把握疾患となり、県内では今年第39週までに6例の報告がありました。

平成20年1月1日から麻疹は、全数把握疾患に変更されました。

図に全国の風しんの発生状況を示しました。今年、関西、関東で患者が多発しており、第20週から報告数が急増し、第1～39週の累積報告数は1,669例となっております。この患者数は2008年以降最も報告数が多かった昨年の年間患者数よりも多く、昨年の同時期の累積報告数(371例)の4.5倍です。詳しくは国立感染症研究所感染症情報センターのホームページをご覧ください。http://www.nih.go.jp/niid/ja/diseases/ha/rubella.html

1. 風しん累積報告数の推移2008～2012年(第1～38週)
Cumulative number of rubella cases by week, 2008-2012 (week1-38)
(based on diagnosed week as of September 26, 2012).

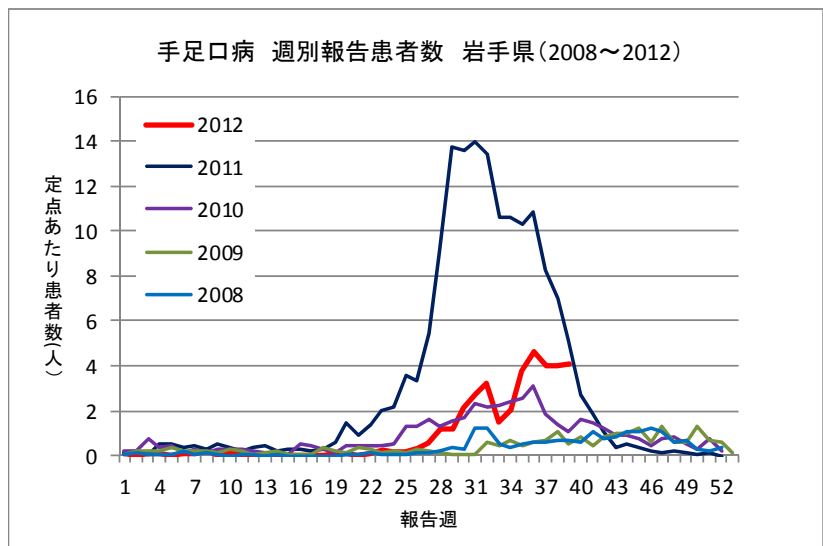


手足口病

手足口病は、口腔粘膜および手や足などに現れる発疹を主症状とした急性ウイルス性疾患です。乳幼児を中心に、主に夏季に流行する疾患ですが、岩手県では例年、9月に入っても報告数が多い状況が続くので、注意が必要です。

病原ウイルスは、主にコクサッキーA16 (CA16) やエンテロウイルス71 (EV71) ですが、ほかのエンテロウイルスによっても発症します。環境保健研究センターで実施しているウイルス検査ではEV71が4例、CA6が1例およびCA9が1例検出されています。

手足口病 週別報告患者数 岩手県(2008～2012)



病原体検出情報

- ・感染性胃腸炎の患者の糞便から、エンテロウイルス71型、A群コクサッキーウイルス2型、アデノウイルス2型をそれぞれ1例分離検出しました。
- ・手足口病の患者の咽頭ぬぐい液から、A群コクサッキーウイルス6型を1例、A群コクサッキーウイルス9型を1例、エンテロウイルス71型を3例分離検出しました。
- ・突発性発疹の患者の咽頭ぬぐい液から、ヒトヘルペスウイルス6型を1例検出しました。
- ・流行性角結膜炎の患者の結膜ぬぐい液から、アデノウイルス56型を2例、単純ヘルペスウイルス1型を1例分離検出しました。
- ・無菌性髄膜炎の患者の咽頭ぬぐい液から、エンテロウイルス71型を1例分離しました。
- ・アデノウイルス感染症の患者の咽頭ぬぐい液から、アデノウイルス3型を1例分離しました。
- ・帯状疱疹の患者の痂皮から、帯状疱疹ウイルスを1例検出しました。
- ・ヘルペス感染症の患者の咽頭ぬぐい液から、ライノウイルスを1例検出しました。
- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の患者の咽頭ぬぐい液から、A群溶血性レンサ球菌を4例、G群溶血性レンサ球菌を1例分離しました。
- ・肝機能障害の患者の糞便から、ヒトパレコウイルス1型を1例分離検出しました。
- ・気管支炎（食物アレルギー症状あり）の患者1名の糞便と咽頭ぬぐい液から、アデノウイルス5型、ヒトパレコウイルス1型、エコーウイルス7型を分離検出しました。

集団感染情報

- ・この週には集団感染情報はありません。

医療機関からの情報

- ・この週には医療機関からの情報はありません。

Q & A

読者の皆様からのご質問にはこの欄でお答えします。

医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記の宛先までお寄せください。

岩手県感染症情報センター（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）

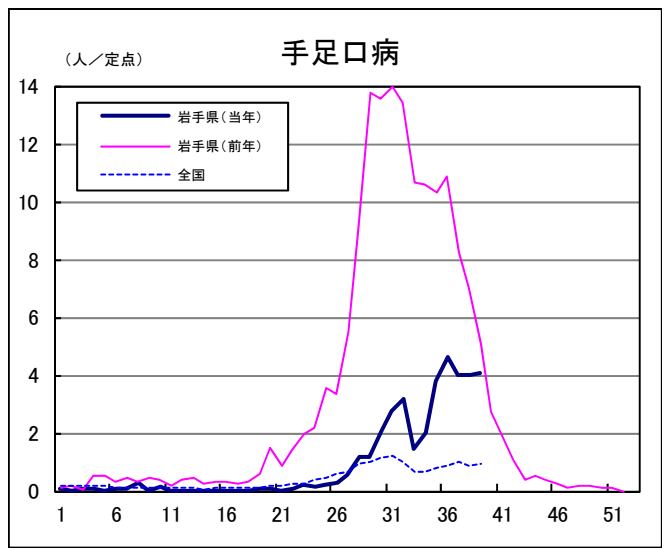
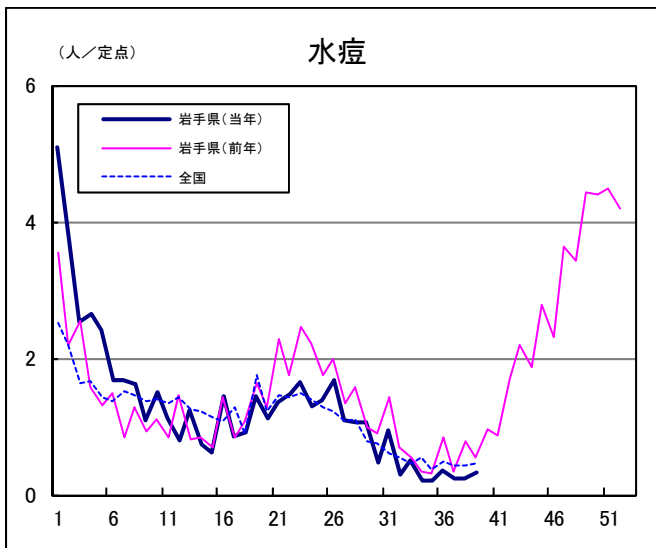
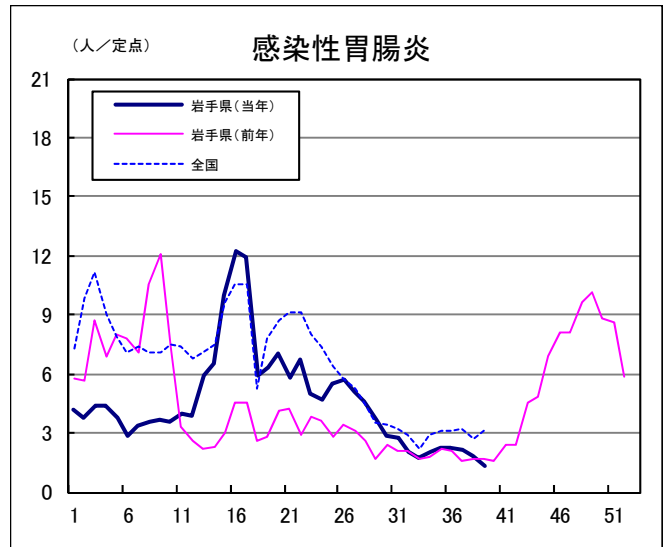
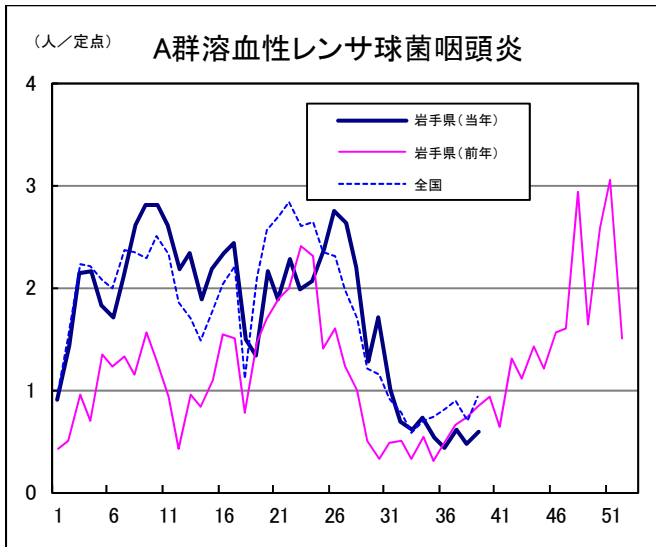
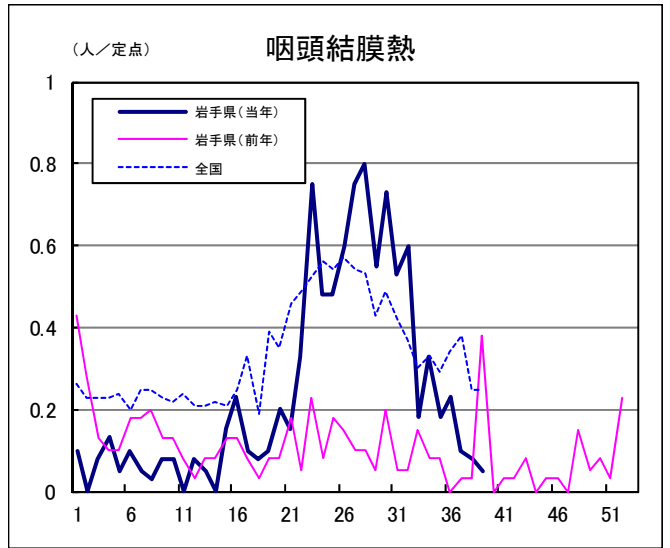
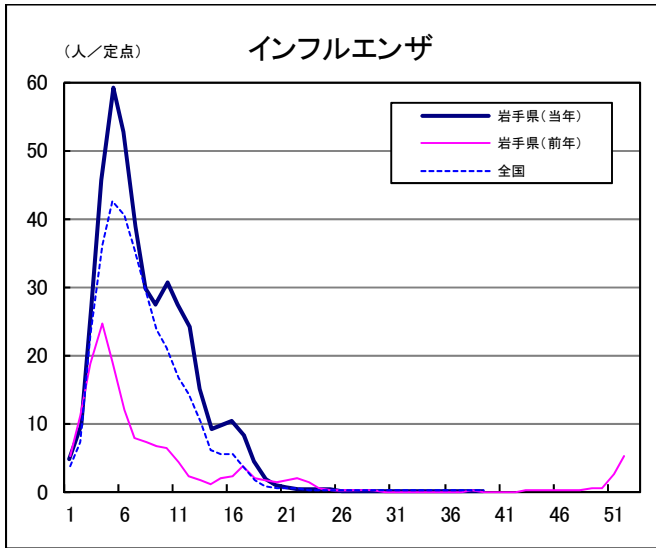
〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡1-11-16

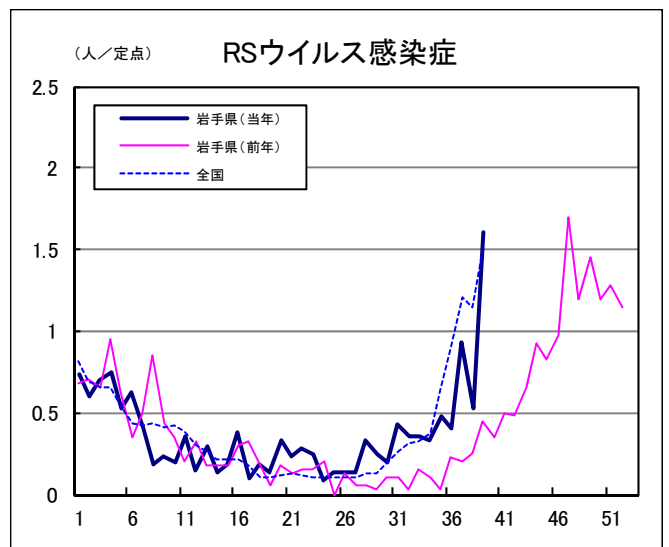
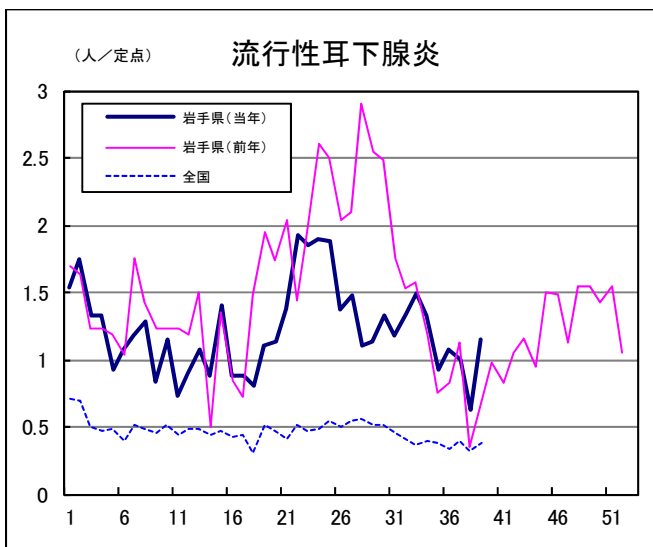
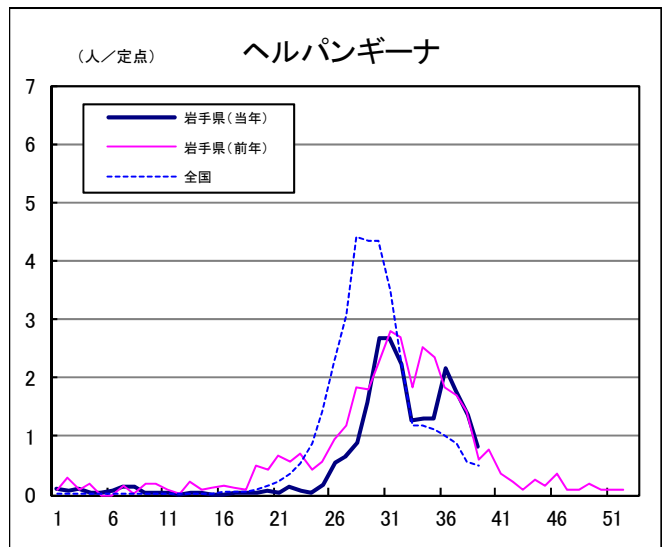
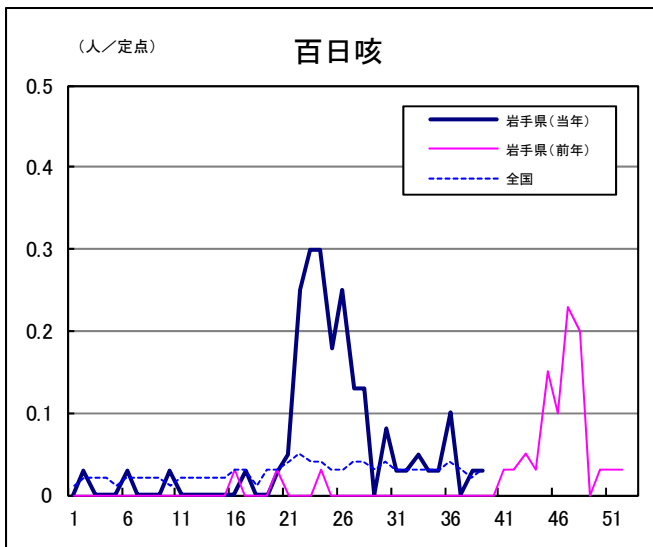
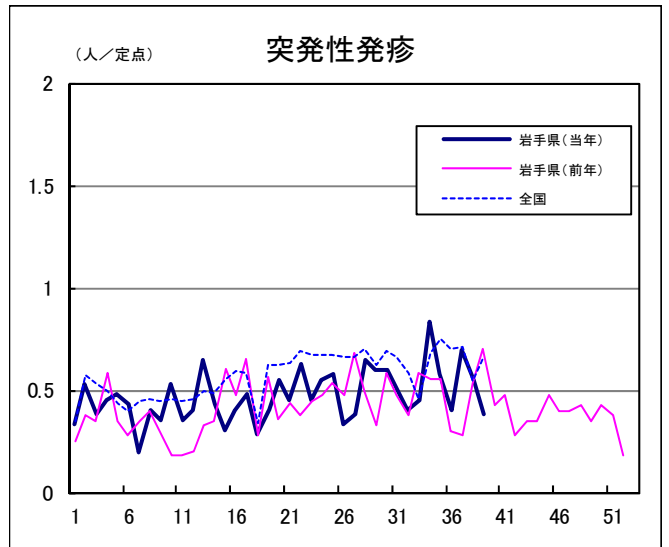
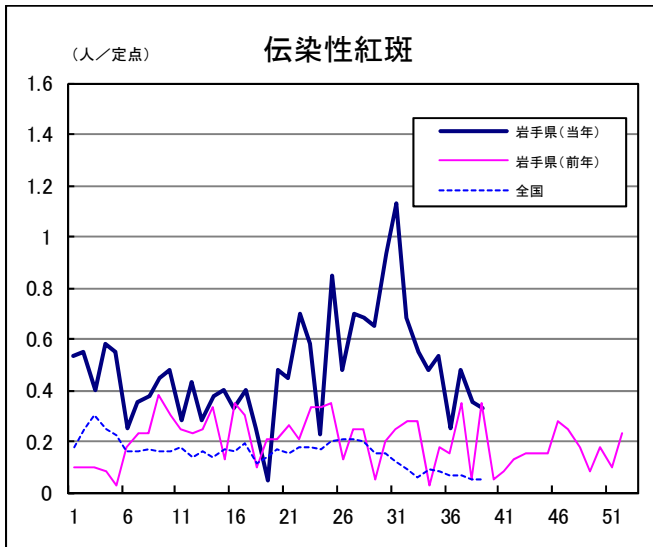
（平成24年2月20日より住居表示が変更となりました。）

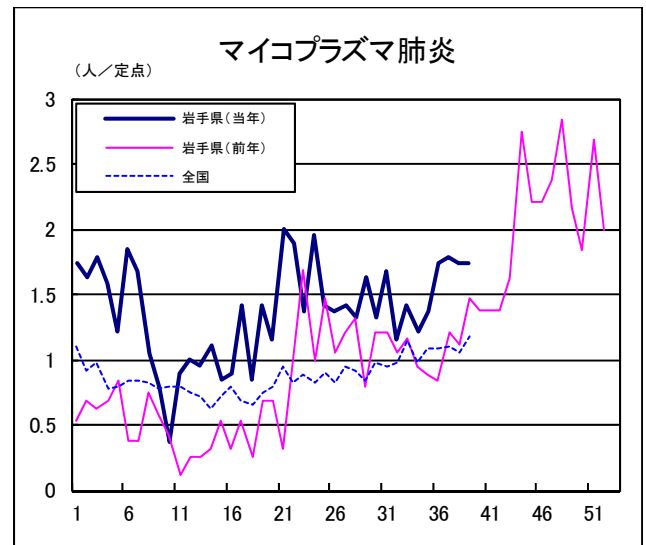
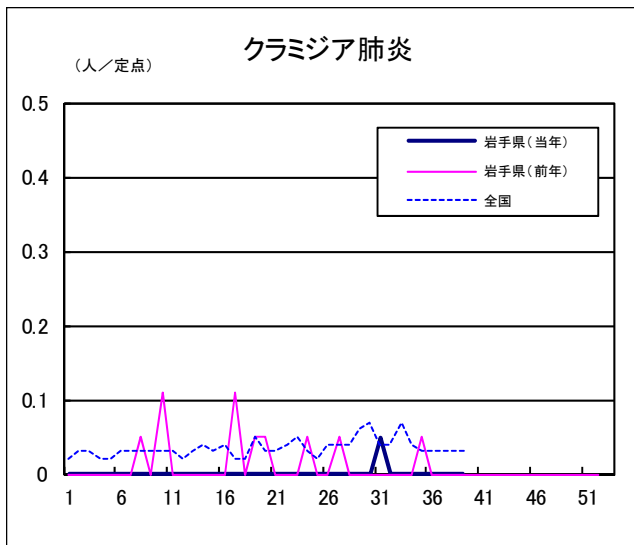
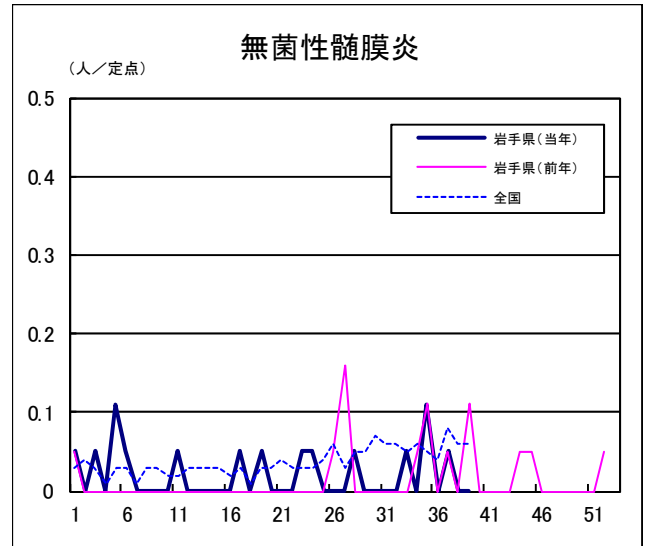
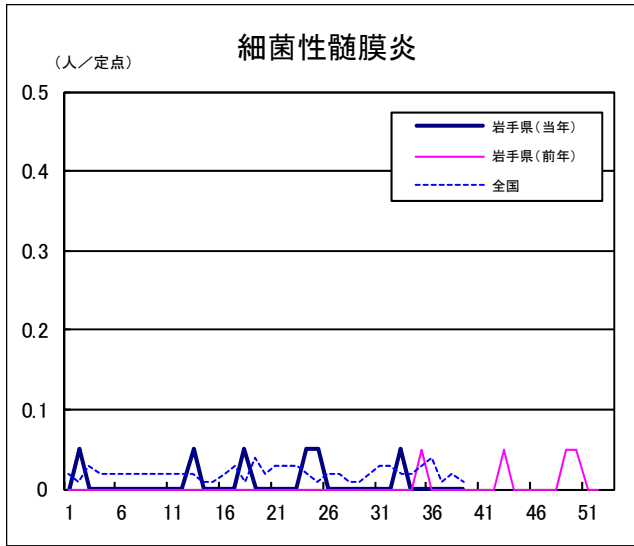
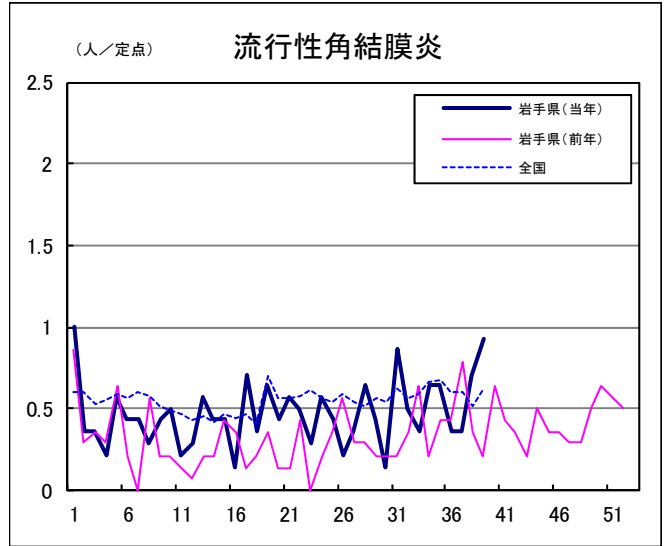
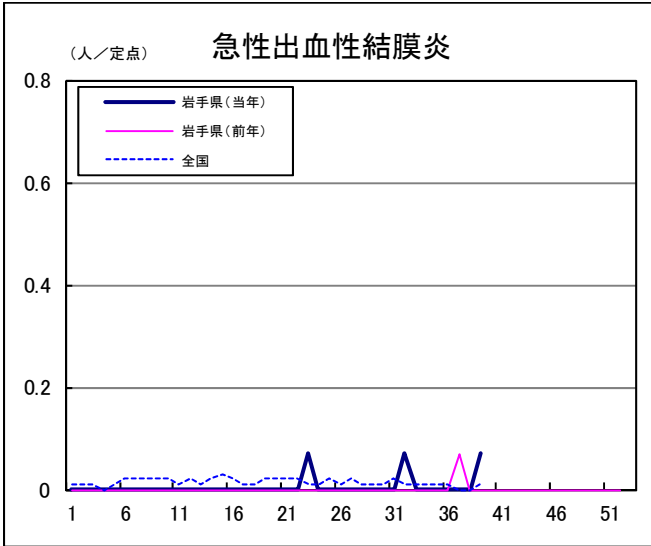
TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667

E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

疾病別グラフ (定点あたり患者数の推移)

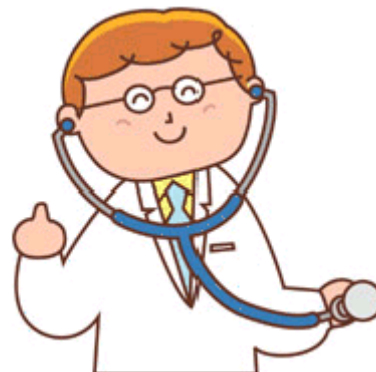






定点医療機関の数

地区	定点種別	インフルエンザ	小児科定点	眼科定点	基幹定点
岩手県		64	40	14	19
盛岡市		11	7	3	5
県央		7	5	2	0
花巻		7	4	1	2
北上		5	3	1	2
水沢		7	4	1	2
一関		7	4	1	2
大船渡		6	4	1	1
釜石		3	2	1	1
宮古		5	3	1	1
久慈		3	2	1	1
二戸		3	2	1	2



無料です!!

岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする

「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」を配信しています。

配信の登録は以下のURLからお願いします。

<http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html>

岩手県感染症週報 平成24年第39週 平成24年10月5日発行

監修：岩手県感染症発生動向調査委員会

発行：岩手県環境保健研究センター
岩手県保健福祉部医療推進課

事務局：岩手県感染症情報センター
(岩手県環境保健研究センター保健科学部内)
〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡1-11-16
(平成24年2月20日より住居表示が変更となりました。)
TEL:019-656-5669 (直通) FAX:019-656-5667

E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

URL: <http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/>

<岩手県感染症情報センター>

<http://www.pref.iwate.jp/info.rbz?nd=345&ik=3&pnp=17&pnp=60&pnp=345>

<岩手県保健福祉部医療推進課>